

利用者インタビュー

～教育担当の方へのインタビュー～

株式会社プラスチックス

管理本部 課長 福嶋 俊介 氏

当社は1987年にプラスチック板の加工会社からスタートし、現在は、国内の販促用DSPの量産工場を備えた総合SP提案型企業として成長してまいりました。海外では、販促ツールの設計・製造に力を発揮し、販売パートナーである日系代理店及びメーカーなどの中国国内販売もサポートしています。



田中君を採用したきっかけは、ちょうどNC工作機を担当してくれる要員が欲しかったので、ポリテクセンターのテクニカルオペレーション科で、機械操作の基本を身につけていた彼がマッチしたからです。入社してから操作を覚えるというのでは本人も大変ですし、日々納期に追われて仕事をしている我々も大変ですので、とても助かっています。

当社は、大企業の参入が難しいニッチの分野で勝負する必要があるため、ただ一つの業務ができるという単能工ではなく、多能工に育ってもらう必要があるため、ジョブローテーションにより、多くの職務を経験してもらいます。その意味で、入社後彼にはまず、材料を手加工する作業に従事してもらい、その後NC機のオペレーション、製品の梱包と色々な業務を経験してもらい、現在は再び手加工の仕事を担当してもらっています。

彼の仕事に対する取組みは非常にまじめで、指示されたことはきっちりやり遂げてくれる域になってきています。今後は、さらに現状の殻を破って、人に技術を指導・伝授できるような人へと成長して欲しいと考えています。

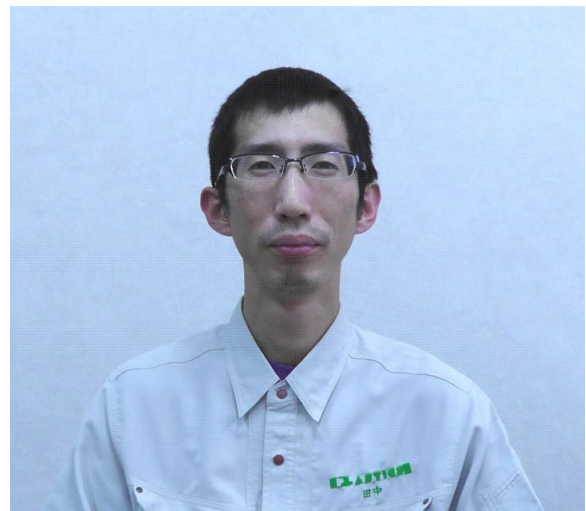
～訓練修了生へのインタビュー～

株式会社プラスチックス

田中 俊郎 氏

テクニカルオペレーション科修了生
(平成19年9月修了)

短大を卒業後、ホームセンターで販売・接客の仕事をしていましたが、将来が心配で、しっかり技術を身につけ、自分が成長できる企業に就職したいと思い、在職中もキャリアを蓄積できる企業への求職活動を続けておりました。



しかし、技術的基礎のない私には、転職はなかなか厳しいものがあり、ハローワークや父からポリテクセンターの存在を聞いて、テクニカルオペレーション科を受講することに

しました。CADや旋盤、フライス盤などについての訓練を6ヵ月間勉強し、技能を習得した結果、幸い当社に就職することができました。今年3月に現在の手加工職場勤務を辞めたので、覚えることが多くて大変ですが、グループ内の年齢が一番上でもありますので、早くスペシャリストとして一本立ちし、人から信頼される人間になりたいと思っています。

今のポリテクセンターの受講生の方へのメッセージとしては、目標をもって訓練に取り組んで欲しいということです。目的に向かって一生懸命やれば自ずと道も開けてきます。是非、6ヵ月の訓練を充実して取り組んでください。